

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

| | | | | |
|------|---|------|-----------|-------------|
| 施設名 | 味方野球場 | | | |
| 管理者名 | (公財)新潟市開発公社 | 指定期間 | 平成31年4月1日 | ～ 令和6年3月31日 |
| 担当課 | 南区地域総務課 | | | |
| 所在地 | 区名 | 南区 | 住所 | 南区七穂25番地1 |
| 根拠法令 | スポーツ基本法 | | | |
| 設置条例 | 新潟市体育施設条例 | | | |
| 施設概要 | 敷地面積 14,222㎡ 両翼90m・センター120m1面(照明付)・トイレ その他 駐車場50台 | | | |

| 施 設 設 置 目 的 |
|---|
| スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。 |
| 管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 ， 方 針 等 |
| (1)新潟市体育施設条例(以下「条例」という。)に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。 (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、サービスの向上や平等利用を確保すること。 (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。 |

令和5年度

| 視 点 | 評価項目 | 評価指標 | 実績 | 評価 ※ | 評価コメント ※ |
|-----|-------------|---|--------------------------------|---------|-------------|
| 市 民 | 広報の充実 | ・ホームページアクセス数(味方地区・月潟地区管理施設全体)が年間20,000件以上 | 28,640件 | A | 目標大幅達成 |
| | 基準利用者数の達成 | ・年間利用者数 4,600人以上(但し、天候に考慮し評価する) | 4,756人 | B | 目標達成 |
| | 各種サービス別満足度 | ・利用者アンケートで「やや満足」以上が80%以上(味方地区・月潟地区屋内施設全体) | 「満足」・「やや満足」が90%(味方・月潟地区屋内施設全体) | A | 目標大幅達成 |
| | 苦情・要望に対する対応 | ・苦情・要望には7営業日以内に回答 ・苦情対応マニュアル整備 | ・回答が必要な苦情・要望なし ・マニュアル整備済み | B | 目標達成 |
| | 地域連携・社会貢献活動 | 社会貢献活動(地域連携事業)年1回以上実施 | ・社会貢献活動(ボランティア清掃)への参加 | B | 目標達成 |

| | | | | | |
|-----|--------------------|--|--|---|--------------------|
| 財 務 | 管理運営経費削減への取り組み | ・省エネ及び環境に配慮した経費削減の取組を実施 | ・職員巡回時にトイレ及び水栓の確認を実施 | B | 目標達成 |
| | 市の歳入の増加 | ・使用料収入を年間651千円以上(但し、免除の状況を考慮して評価する) | 627,500円 (免除額568,000円除く) | B | 目標達成 (免除の状況を考慮) |
| 業 務 | 事業計画・事業報告の適切さ | ・事業報告が分かりやすく、かつ正確である ・事業報告の締切厳守 | 遵守 | B | 適正に実施 |
| | 安全責任者の配置と安全確保体制の確立 | ・危機管理マニュアルの職員周知 ・防災訓練年1回以上実施 | ・安全責任者として館長を配置。不在の場合は次席が代行する。 ・危機管理マニュアル周知済み ・避難誘導訓練 年2回実施 ・防災危機管理研修を実施 | B | 適正に実施 |
| | 事件・事故発生時の対応の適切さ | ・利用者の安全確保のための対応が整理されているか(避難の誘導や蘇生対応等) ・警察や消防への連絡体制が整備されているか ・市の主管課への連絡体制が整備されているか ・事件・事故対応訓練や講習を年1回以上実施 | ・緊急連絡網の整備 ・消防訓練を実施 ・応急手当普及員による救命講習会を受講 ・事故報告、重クレーム報告該当なし | B | 適正に実施 |
| | 自己管理システム | ・事業報告書において、業務の自己点検と業務への反映についての具体的記載 | ・事業報告書での利用状況分析及び自己評価に記載 | B | 適正に実施 |
| | 事故防止の取組 | ・補償を伴う事故発生件数0件 | 該当なし | B | 目標達成 |
| | 関係法令の遵守 | ・個人情報保護、情報公開及びコンプライアンスに関する研修1回以上 | ・Web研修実施 ・全体研修実施 | B | 適正に実施 |
| | 業務基準書等に定める事項の遵守 | ・その他業務仕様書等に定める事項の遵守 | 遵守 | B | 適正に実施 |
| 人 材 | 配置人員のスキルの習得度 | ・職員研修を年1回以上実施 | ・計画的に研修を実施(接遇研修、施設掌握、水難訓練、普通救命講習Ⅱ) | A | 目標大幅達成 |
| | 労働基準の充足 | ・労働関係法令の遵守 | 遵守 | B | 適正に実施 |

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
 B: 要求水準(評価指標)が達成されている
 C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。
 (評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、今まで開催中止・規模縮小となっていた大会等が通常どおり開催されるようになり、利用者数の目標を達成することができた。使用料収入については、昨年度に比べスポーツ少年団や準ずる団体など学校料金適用団体の利用が多かったため、目標未達成となった。(スポーツ少年団及び準ずる団体件数: 令和4年度17件、令和5年度27件)
 今後も、きめ細やかな施設管理と質の高い接客で、引き続き安心・安全・快適にご利用いただけるように努め、利用者数及び使用料収入の増加を目指す。

所管課による総合評価(所見)

・利用者数は評価指標を上回った。使用料収入は評価指標を下回ったが、使用料の一部免除団体(スポーツ少年団)の利用が多かったことを考慮し、目標達成として評価した。
 ・アンケート結果では高い満足度を維持しており、質の高い利用者サービスを実施しているといえる。
 ・今後も日々の管理を徹底し、安心・安全に留意した施設管理を実施してもらいたい。